

第45期 (令和4年度)

事業報告書

【経営理念】

周りの人の幸せを願うところに
自らの幸せもある



社会福祉法人

寿 光 会

目 次

1	法人沿革	．．．．	3P～4P
2	法人概況	．．．．	5P
3	第45期 令和4年度 事業報告書	．．．．	6P
4	法人重要会議開催状況	．．．．	7P
5	(1) 業績ハイライト (3ヵ年比較)	．．．．	8P
6	(2) 拠点別 (同一敷地内) (3ヵ年比較)	．．．．	9P
7	(3) 事業別セグメント (特別養護老人ホーム・ 短期入所生活介護)	．．．．	10P
8	(3) 事業別セグメント (通所介護・訪問介護)	．．．．	11P
9	(3) 事業別セグメント (認知症対応型共同生活介護・ 本部・診療所/その他)	．．．．	12P
10	(4) 令和4年度各事業稼働状況一覧表	．．．．	13P
11	(5) 地域貢献事業	．．．．	14P
12	(6) トピックス・(7) 今後の課題	．．．．	15P
13	(8) 職員構成状況	．．．．	16P

法人沿革

年/月/日

- S53/2/22 社会福祉法人寿光会 法人設立 **初代理事長：今川 光子**
- S53/4/1 特別養護老人ホーム寿光園（定員70名）開設
法人の主たる事務所を八尾市大字楽音寺318番地に置く
- S55/11 特別養護老人ホーム柏原寿光園新築工事開始
- S55/11 八尾市デイサービスセンター寿光園新築工事開始
- S56/2/1 八尾市デイサービスセンター寿光園（定員25名）開設
- S56/8/1 特別養護老人ホーム柏原寿光園（定員50名）開設（寿光会で2番目の拠点となる）
- S59/10/29 八尾市第27次町名地番号改正により、寿光園の住所が、八尾市大字楽音寺318番地から八尾市楽音寺二丁目125番地に変更となる（法人の事務所住所も同様に変更）
- S63/6/13 設立時の理事長 今川光子から、理事長 板倉直明に変更 **2代目理事長：板倉 直明**
- H2/4/1 寿光園で八尾市の委託事業、訪問入浴・ホームヘルパー派遣事業・A型デイサービス開始
- H3/4/1 寿光園で、在宅サービス供給ステーション事業（大阪府）・在宅介護支援センター事業開始
- H4/4/1 八尾市ショートステイ事業を受託し、寿光園・柏原寿光園で開始
- H7/11 柏原在宅サービス供給ステーションの新地工事開始
- H8/4/1 柏原寿光園で、在宅サービス供給ステーション・A型デイサービス及び身体障害者デイサービス事業開始
- H12/4/1 グループホーム寿光園（定員9名）開設
寿光園拠点・柏原寿光園拠点で介護保険事業を開始。制度に則り両拠点で居宅介護支援事業所も開設
- H18/6/1 今川デイサービスセンターを医療法人銚生会から買取
寿光会今川デイサービスセンターとして開始
- H19/4/1 地域包括支援センター事業「八尾市地域包括支援センター寿光園」開設
- H20/3/31 2代目理事長：板倉直明 療養のため退任
- H20/4/8 臨時役員会により3代目理事長に三木明就任 **3代目理事長：三木 明**
- H22/4/1 寿光園新館増築により個室ユニットケア開始 寿光園訪問入浴・訪問給食事業廃止
- H22/5/21 理事長三木明から4代目理事長：板倉嘉孝に交代 **4代目理事長：板倉 嘉孝**
- H22/9 寿光園本館の改修工事で、ショートステイ事業を増床（6床から19床へ増床）
- H22/10 デイサービスセンター寿光園を、デイセンターの建物から寿光園本館の1階へ移転
- H23/4/1 柏原地域密着型高齢者施設「太寿」開設（寿光会で3番目の拠点となる）
特別養護老人ホーム太寿29床（個室ユニットケア）
グループホーム9床・ショートステイ太寿10床
- H26/4 寿光園の個室ユニット部分（16床）が地域密着型特養ホームに転換。従来型特養は54床となる

- H27/3/1 八尾地域密着型高齢者施設「楽寿」開設（寿光会で4番目の拠点となる）
 （特別養護老人ホーム楽寿29床（個室ユニット）・ショートステイ楽寿10床及び
 今川デイサービスセンター（定員30名）
 （今川デイサービスセンター定員30名を「楽寿」に移転、特別養護老人ホーム楽寿に併設
 今川デイの建物は、医療法人幸晴会に売却）
 法人の主たる事務所を、八尾市神宮寺一丁目154番地（楽寿内）に移転
- H27/4/1 今川デイサービスセンターからデイサービスセンター楽寿へ名称変更
- H28/3/31 柏原寿光園拠点の福祉用具貸与事業廃止
- H28/12/1 柏原寿光園デイサービスセンターを、地域密着型デイサービスセンターに変更し、
 定員が25名から18名になる
- H29/4/1 地域包括支援センター事業「八尾市地域包括支援センター楽寿」開設
- H29/5/1 デイサービスセンター楽寿定員30名から定員25名へ定員変更
- H29/6/21 理事長板倉嘉孝から5代目理事長：森田浩稔に交代 **5代目理事長：森田 浩稔**
- H30/3/1 柏原寿光園を建替え整備、安堂から柏原市高井田に新築移転し開設。特養で10床増床
 特別養護老人ホーム柏寿（小規模従来型30床）・ショートステイ柏寿（多床室型10床）
 特別養護老人ホーム高寿（小規模ユニット型30室）
 ショートステイ高寿(ユニット型個室10室)
 地域密着型デイサービスセンター高寿定員18名、身体障害者デイ 定員5名
 柏原寿光園ホームヘルプセンター・柏原ケアプランセンター寿光園
- H30/4/1 柏原寿光園拠点の建物内（4階）に住宅型有料老人ホーム「安寿」18室を開設
- H31/4/1 寿光園のショートステイ19床の内、6床を従来型特養ホームに転換。
 従来型特養の定員が54床から60床に変更
- H31/4/1 寿光園デイサービスセンターを、地域密着型デイサービスセンターに変更し、
 定員が20名から18名に
- R3/4/1 元柏原寿光園（安堂）の建物を解体し、
 「グループホーム令寿の杜」（2ユニット18床）を新築、開設（寿光会で5番目の拠点となる）

法人概況



法人の名称	社会福祉法人寿光会
理事長	森田浩稔
主たる事務所の住所	大阪府八尾市神宮寺1丁目154番地
主たる事務所の電話番号	072-943-3602
法人のホームページアドレス	https://jyukokai.org/
法人の設立認可年月日	昭和53年2月8日
法人の設立登記年月日	昭和53年2月22日
評議員数	8名
理事数	7名
監事数	2名
職員総数	323名 令和5年3月31日現在

【経営理念】 周りの人の幸せを願うところに、 自らの幸せもある。

人は加齢と共に心身の機能が低下し、老いを全うするには様々な支え、援助が必要となります。その援助をする人が、どんなにすばらしい知識・技術を持ち合わせていても、利用者の心を傷つけるようなことがあっては、生活援助も形だけのものになってしまうでしょう。

人間ゆえに持っている心の部分や、気持ちの動きを常に胸に留め、利用者に合わせてより良い人間関係の中で、職員として（仕事として＝プロとして）、ケア方針に沿った援助を行なっていきたいと願っています。

【ケア目標】

入居者・利用者のそれぞれの生活スタイルが尊重され、主体的にその人らしく、心穏やかに暮らせる場の創造を目指します。

【ケア方針】

- 1) 入居者・利用者及びご家族の意向にそった支援に努めます。
- 2) 残存機能を生かし、自律心を尊重した支援に努めます。
- 3) 居宅介護の継続性と地域との関係を重視した支援に努めます。
- 4) 精神的・身体的拘束のない介護に徹します。
- 5) 個々の考え方が尊重され、共通ルールは必要最小限にとどめるように努めます。
- 6) 職員が相互に協力して、チームケアに取り組みます。

【職員モットー】

自らが入居・利用したいと思う施設の創造



第45期 令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

社会福祉法人 寿光会

ご利用者・ご家族・関係諸機関等の皆様のご支援とご高配を賜り、大過なく1年間運営することができましたことに厚く御礼申し上げます。令和4年度は、当法人にとって5番目の拠点となった『グループホーム令寿の杜』の開所から2年目となりましたが、職員の確保が難しく前年度の上半期で2ユニット中の1ユニット(9名)が満室となったまま、入居希望者はありながら年度末まで1ユニットだけの運営が続きました。令寿の杜以外の拠点でも職員不足の課題は解消が困難で、稼働状況に大きく影響しました。

令和4年度に法人としての基本方針としていた①「法人の内部統制の厳正化」に関して、個人情報保護法や育児介護休業法など、改正された法令等に合わせて法人内の規則・規程等の改正を行い法令順守によるガバナンスに努めました。②「法人の経営・運営の透明性の確保」に関しては、まず年度当初に施設長の定期的な人事異動の第1回目を行って、各拠点の施設長が異動した拠点の経営・運営状況をそれぞれ認識することから始めました。さらにリモートによる法人内合同での職員の研修を実施したり、法人内各委員会を設置して各拠点から担当者が出席し、共通の課題や重要課題に関する協議等を通じて、法人内の共通認識や意思確認を行っていくことで経営・運営状況の透明性をより向上させていくことに努めました。③「法人本部機能の強化」では、経理事務に始まって、人事・労務手続きや各種助成金等の申請事務など、より多くの手続き等を法人本部で行えるように業務を拡大していきました。④「地域貢献事業の推進」では、コロナ禍で中断していたこども食堂等の貢献事業に代って「宅配フードパントリー」事業を開始し、一年間で数件ではありましたが、利用されたり相談を受けたりしました。ただ、中断していたこども食堂の再開に関しては、協議を進めましたが、多くの拠点で断続的にコロナ感染症のクラスターが発生してしまい、入居者のご家族の面会も通年でリモートやガラス越し面会になってしまったことや、こども食堂を取り巻く社会の状況も変化したことから再開の見通しが立たず、事業を中止するという判断をせざるを得なくなりました。それに代わる事業を模索した結果、コロナ禍が落ち着いたら、地域の独居高齢者の孤立予防等を目的に、各拠点施設地域の高齢者を対象に「高齢者ふれあいサロン」事業を行う方向にあり、実施に向けて協議を進めています。

⑤「法人の長期課題の検討と対策」に関しては、第1課題である寿光園本館の老朽化に伴う対策は、大規模改修と建替えの両面から検討を進めており、関係機関等とも連携を取りながら検討をすすめている状況です。第2課題である住宅型有料老人ホーム安寿の今後の運営については、利用状況を向上させるために避けて通れない課題が、利用者のサポート体制の強化(昼夜通しての訪問介護サービスの提供)ですが、人員確保や経営規模的な問題から解決は極めて困難で、安寿の利用状況を改善することも極めて困難と思われることから、近い将来に事業の方向性を検討すべきと考えます。そのため、その方向で必要な対応を行っていくべく、関係者及び関係機関と協議・検討を進めています。

事業の全体的な運営状況は、各拠点で断続的にコロナ感染症のクラスターが発生して在宅事業(デイサービスやショートステイ)を一時停止したり利用制限したりしながらの運営となりましたが、各事業とも総じてかなり高い稼働状況で運営できました。しかし、年度途中から、社会の経済状況の影響で光熱水費を筆頭に、食品(給食費)やオムツ類など日用品等、軒並みの値上がりで支出が膨らみ経営を圧迫してきました。今後においても、物価の高騰・人手不足による人件費の上昇などが続き、法人運営には厳しい状況が容易に推測できるため、一層の経営力が求められます。

法人重要会議開催状況

1) 令和4年度 寿光会理事会・評議員会等開催状況及び役員・評議員等の参加状況

開催日	会議名称	形態	出席人数	会議の主な案件	
令和4年 5月25日	第1回 理事会（通常）	対面	理事 7名	1、令和3年度事業報告	5、就業規則等諸規程変更
			監事 2名	2、令和3年度決算案	6、理事1名辞任・候補者選定
			欠席 0名	3、監事監査報告	7、役員報酬規程変更案
6月17日	定時評議員会	対面	理事 4名	1、令和3年度事業報告	5、役員報酬規程規程変更
			評議員8名	2、令和3年度決算	6、令寿の杜敷地一部寄附
			監事 2名	3、監事監査報告	7、令和4年度福祉充実計画
			欠席 0名	4、理事辞任・補欠選定	8、寿光園隣接地購入経過報告
8月24日	第2回 理事会（臨時）	書面	書面出席	1、就業規則の一部変更	
			理事 7名	2、育児・介護休業規程一部変更	
			監事 2名	3、誕生日記念祝金支給規程一部変更	
			欠席 0名		
10月12日	第3回 理事会（臨時）	書面	理事 7名	1、職員の懲戒処分について	
			監事 2名		
			欠席 0名		
令和5年 2月22日	第4回 理事会（通常）	対面	理事 7名	1、令和4年度補正予算	5、就業規則等諸規程変更
			監事 2名	2、令和5年度事業計画	6、経理規程変更
			欠席 0名	3、令和5年度予算	7、安寿の今後の事業運営
				4、R4年度業務執行状況報告	8、役員等賠償責任保険契約

2) 賞罰委員会（理事長の諮問機関）

開催日	会議名称	形態	構成員	内容等
10月12日	賞罰委員会	対面	使用者側 1名 管理監督者 1名 従業員代表 1名	1、職員の懲戒処分について

3) 経営会議

延開催回数	開催日等	構成メンバー	延べ出席人数	会議の内容等
22回	原則月2回 水曜日	全理事	159人	1、毎月の財務分析 2、各拠点間の連携・問題提起等 3、各種規定作成・検討等

4) その他の法人内会議

※施設長・管理者会議 ※施設長・本部連携会議 ※運営検討委員会 ※法人研修委員会
 ※地域貢献委員会 ※第1長期課題検討委員会（寿光園本館建替え等検討委員会）
 ※第2長期課題検討委員会（有料老人ホーム安寿の事業運営に関する検討委員会）

23期 理事会（7名）

監事（2名）

評議員会（8名）

理事長 森田 浩稔
 理事 板倉 嘉孝
 理事 福森 潔
 理事 山下 恵利子
 理事 大坪 正直
 理事 児玉 英史
 理事 青野 千尋

監事 藤田 修一
 監事 小林 京子

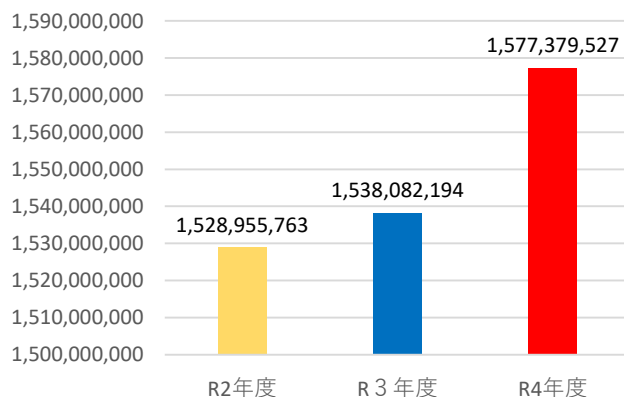
評議員 荒井 恵一
 評議員 稲村 啓子
 評議員 笠原 幸子
 評議員 田中 米征
 評議員 田中 幸子
 評議員 細見 久視
 評議員 山下 和子
 評議員 芳林 正勝

(1) 業績ハイライト

サービス活動収益

令和4年度の法人全体では、サービス活動収益は、前年度比で3,900万円程の増収となりました。要因としては楽寿、太寿のショートステイの稼働が軌道にのり始めた事、そして、グループホーム令寿の杜の1ユニットが満床になった事が要因としてあげられます。また、昨年2月から始まった処遇改善支援補助金（R4.10月以降ベースアップ等支援加算に変更）の収入が計上された事も大きな要因となりました。

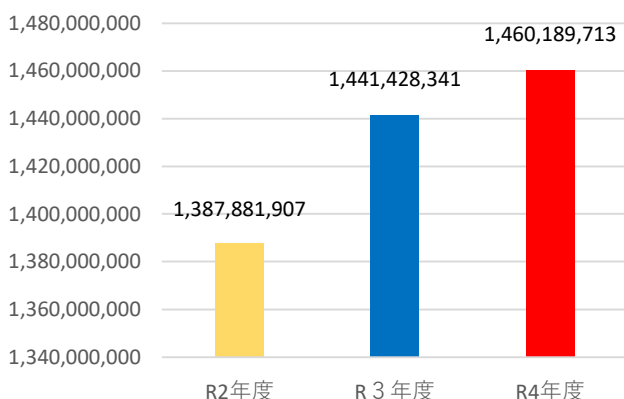
寿光会全体サービス活動収益



サービス活動費用

令和4年度のサービス活動費用として前年度比で約1,880万円の増額となりました。拠点によっては修繕費が増大した拠点もありましたが、法人全体では修繕費を含む事務費は昨年と大きな変化はなく、事業費、とりわけ水光熱費の高騰が大きく、また楽寿、太寿のショートステイの稼働が上昇したことによる食材料費の増加も1つの要因と考えられます。

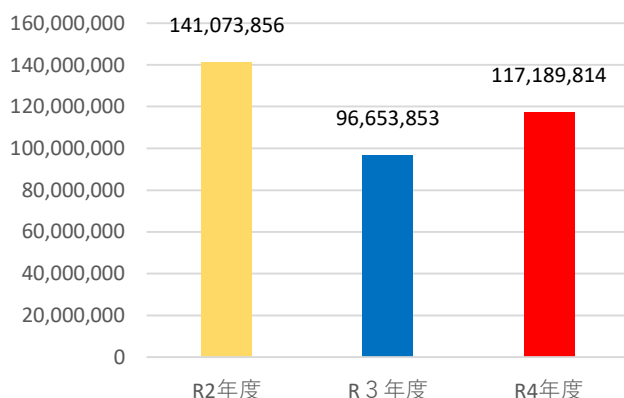
寿光会全体サービス活動費用



サービス活動増減差額

令和4年度、法人全体のサービス活動増減差額では前年度と比較し、2,050万円程の増収となりました。特にグループホーム令寿の杜の1ユニットが満床になった事で収入が増加し、最終的には収支で赤字となりましたが赤字幅が減少した事、寿光園拠点で人員減による人件費の減少、また、前年と比較し修繕費が少なかった事が要因となりました。そして令和4年度は水光熱費、特に電気、ガス代の高騰のため、事業費がサービス活動増減差額に大きな影響を与える結果となりました。

寿光会全体サービス増減差額



(2) 拠点別 (同一敷地内)

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年度の状況が今年度の運営においても継続していましたが、そんな中でも活動収益が増加する拠点もありました。しかし燃料費や物価の高騰が各拠点の活動費用の増加へとつながり、収支差額へ影響する結果となりました。近年続いている人員確保難も含め、これらの傾向は今後も続くものと思われます。

前年度開設の「グループホーム令寿の杜」も人員不足から未だ1ユニットのみの稼働となっています。

高稼働率を維持して安定した活動収益を得ること、物価高騰が続く中で支出面をどう抑えていくか、及び人員確保と人材育成が今後の運営のポイントと思われます。

【高齢者総合ケアステーション寿光園】

特別養護老人ホーム (定員60名)
 短期入所者介護 (定員13名)
 通所介護 (デイ) (定員18名)
 認知症対応型共同生活介護 (定員9名)
 訪問介護 (ヘルプ)
 ケアプランセンター
 八尾市地域包括支援センター寿光園

【高齢者総合ケアセンター柏原寿光園】

特別養護老人ホーム (定員60名)
 短期入所者介護 (定員20名)
 通所介護 (デイ) (定員18名)
 訪問介護 (ヘルプ)
 ケアプランセンター
 住宅型有料老人ホーム (定員18名)

【柏原市地域密着型高齢者施設太寿】

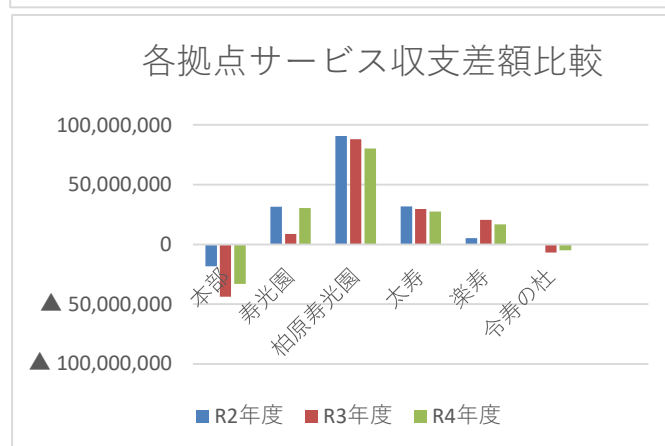
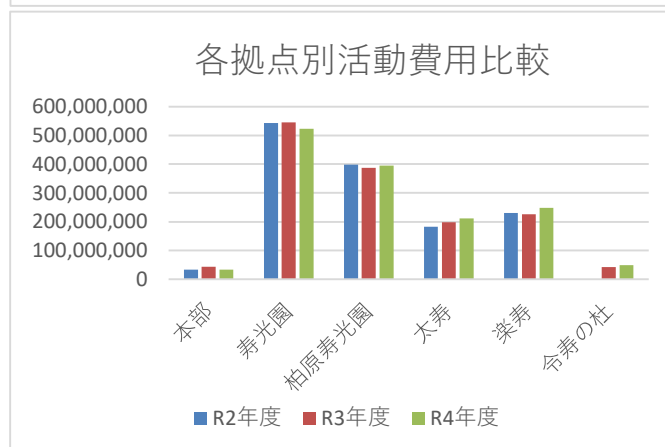
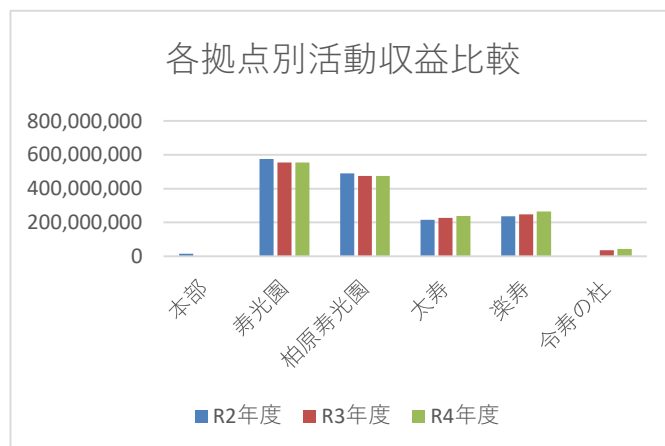
特別養護老人ホーム (定員29名)
 短期入所者介護 (定員10名)
 認知症対応型共同生活介護 (定員9名)

【八尾市地域密着型高齢者施設楽寿】

特別養護老人ホーム (定員29名)
 短期入所者介護 (定員10名)
 通所介護 (デイ) (定員25名)
 八尾市地域包括支援センター楽寿

【グループホーム令寿の杜】

認知症対応型共同生活介護 (定員18名)



(3) 事業別セグメント

【特別養護老人ホーム】

サービス活動収益	サービス活動収支差額	収益率
983,171,054	95,516,298	9.7%
前期比 101.4%	前期比 98.1%	

特別養護老人ホームの収益が、法人全体の収益の62.3%を占めており、法人経営を支えている基幹事業です。

令和4年度は、各拠点でクラスター感染が相次いで発生し、コロナ禍の影響を受けるも、収益としては前年度を上回りました。

しかし、活動収支差額は前年を僅かに下回りました。各拠点単位では、寿光園拠点は前年比約1700万円増、柏原寿光園拠点では前年比約400万減、太寿拠点では前年比約500万減、楽寿拠点では前年比約900万の減となりました。

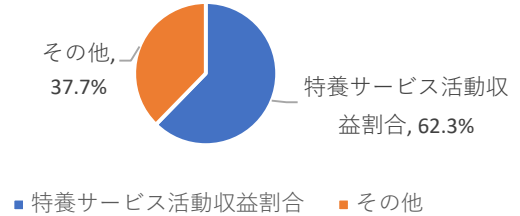
特養全体の収支差額のうち、柏原寿光園拠点が6割を占めました。

【短期入所生活介護】

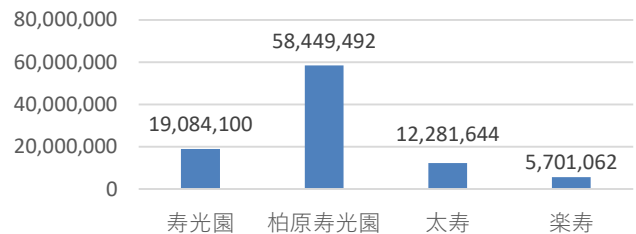
サービス活動収益	サービス活動収支差額	収益率
163,485,310	22,460,658	13.7%
前期比 113.0%	前期比 369.5%	

短期入所生活介護（ショートステイ）の収益は、法人全体の収益の10.4%です。特養同様にクラスター感染の影響を受けましたが、収益では前期比1割増、収支差額では前期比約4倍と、大幅に増加しました。拠点毎では楽寿・太寿拠点がプラスに転じました。これは楽寿・太寿拠点の配置職員の充足や改善により、安定した稼働を維持できたことが大きな要因です。寿光園拠点は前期よりも収支のマイナス幅が縮小されましたが、これをさらに改善し、プラス収支にする事が今後の課題とされます。

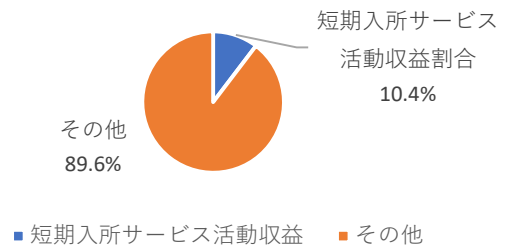
令和4年度（特養） サービス活動収益割合



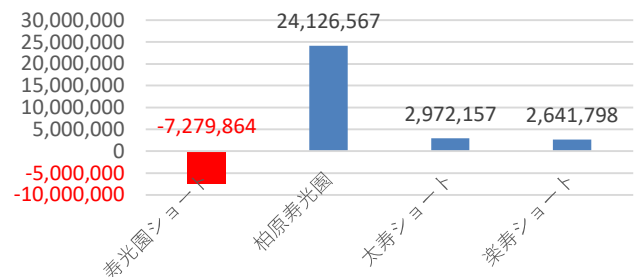
令和4年度拠点別（特養） サービス活動収支差額



令和4年度（短期入所） サービス活動収益割合



令和4年度（短期入所） サービス活動収支差額



【通所介護】

サービス活動収益	サービス活動収支差額	収益率	
129,950,683	8,990,511	6.9%	
前期比 108.4%	前期比 316.1%		

通所介護（デイサービス）（寿光園・高寿は地域密着型）の収益は、法人全体の収益の8.2%です。

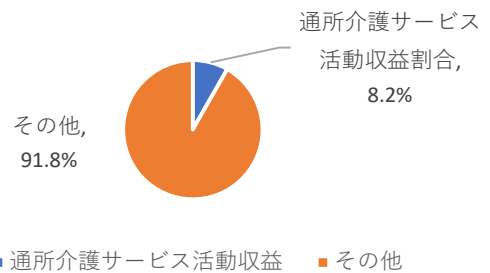
寿光園・高寿・楽寿の各デイとも、前年比で増収になりました。中でも楽寿のデイは、コロナ禍の影響下でも、年間稼働率は89.6%と目標を大幅に上回りました。また通所介護全体の収益の50%を占めました。

高寿のデイは営業活動等が功奏し、60.3%と前年度を10%も上回る稼働率となりました。

活動収支差額では、好調を維持している楽寿のデイに加え、今期は高寿のデイもプラスに転じました。寿光園のデイのマイナス幅が減少したこともあり、通所介護の活動収支差額は、600万以上の増加となりました。

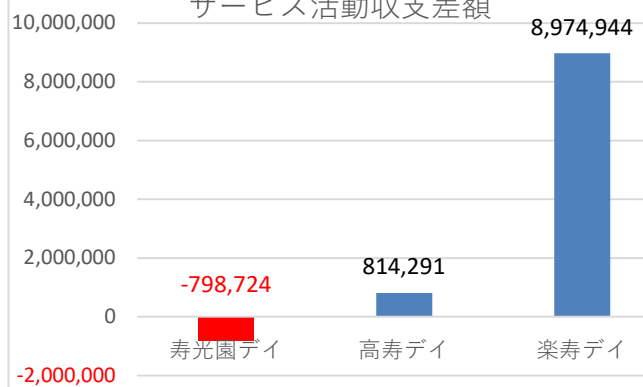
令和4年度（通所介護）

サービス活動収益割合



令和4年度拠点別（通所介護）

サービス活動収支差額



【訪問介護】

サービス活動収益	サービス活動収支差額	収益率	
41,710,488	6,680,431	16.0%	
前期比 88.0%	前期比 75.4%		

訪問介護（ヘルプ）のサービス活動収益は、法人全体の収益の2.6%です。

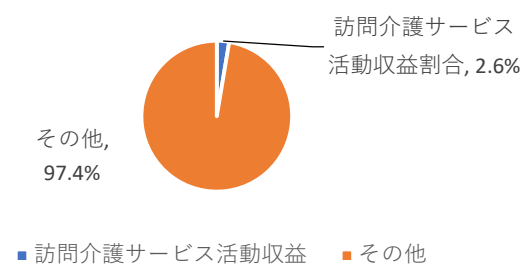
寿光園拠点では若干収益が減少しましたが、柏原寿光園拠点では職員の高齢化と併設する有料老人ホーム安寿へのサービス提供が終了したことなどによって、収益が前年比2割以上の減少となりました。

活動収支差額では、寿光園拠点で約7%減少し、柏原寿光園拠点では約46%減少しました。

全体では前期比で約220万の減少となりましたが、両拠点とも活動収支差額はプラスとなり、今後も収益の見込める事業であり、ニーズもあることから、訪問介護員の確保と派遣を増やしてゆく事が大きな課題です。

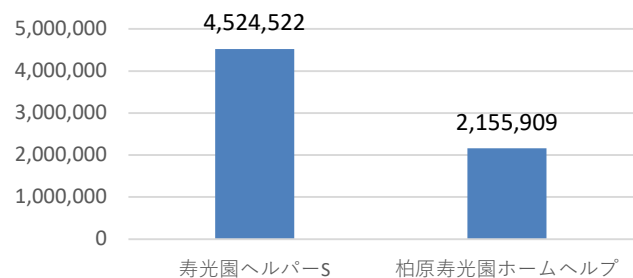
令和4年度（訪問介護）

サービス活動収益割合



令和4年度拠点別（訪問介護）

サービス活動収支差額



【認知症対応型共同生活介護】

サービス活動収益	サービス活動収支差額	収益率
130,995,624	12,138,873	9.3%
前期比 106.7%	前期比 96.5%	

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）のサービス活動収益は、法人全体の8.3%です。寿光園拠点では入院や退居される方が相次ぎ、年間稼働率は93.3%と前年度を下回りました。太寿拠点では年間稼働率は98.5%と、目標稼働率に達しました。

開設二年目となった令寿の杜拠点は、2ユニット目の稼働を目指し職員採用を進めるも、同程度の退職者も出たことから、稼働は出来ませんでした。

全体の活動収益としては、令寿の杜の入居者の増加により、前年度を上回りました。

しかしながら、活動収益差額では拠点により状況が異なり、寿光園拠点の活動収支差額は、太寿拠点の半額以下となりました。令寿の杜は前期比でマイナス幅は減少しましたが、2ユニット目の稼働未達の影響が大きく、約500万のマイナスとなりました。

【本部・診療所/その他】

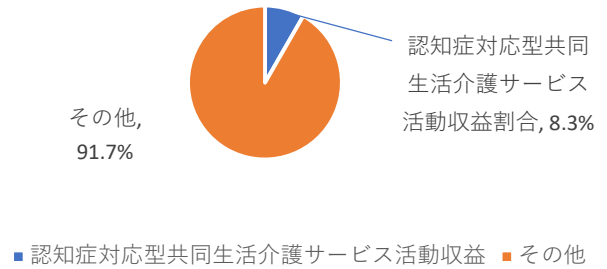
サービス活動収益	サービス活動収支差額	収益率
128,066,368	-28,596,957	-22.3%
前期比 95.9%	前期比 108.7%	

本部・診療所・その他の事業のサービス活動収益は、前年度を約4%下回りました。

全体の活動収支差額としては、経理上、支出のみ計上されていく本部拠点と、委託事業で、収支差額のプラスを計上ができない、地域包括支援センター事業や、住宅型有料老人ホーム安寿が、マイナス計上をしているが、寿光園拠点および柏原寿光園拠点の診療所およびケアプランセンターでは、収益を上げています。

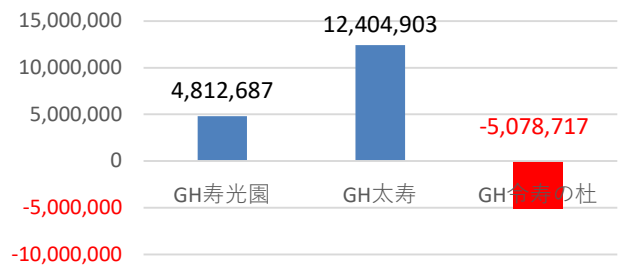
令和4年度（認知症対応型共同生活介護）

サービス活動収益割合



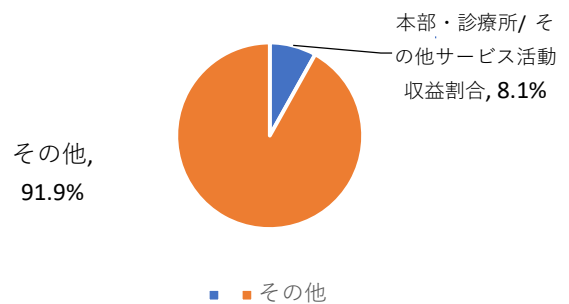
令和4年度（認知症対応型共同生活介護）

サービス収支差額



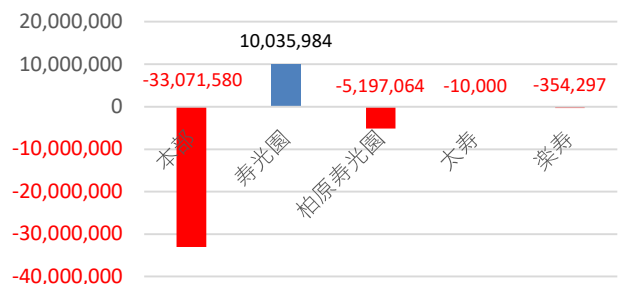
令和4年度（本部・診療所・その他）

サービス活動収益割合



令和4年度拠点別（本部・診療所・その他）

サービス収支差額



(4) 令和4年度各事業稼働状況一覧表

注：法人内で運営している事業の内、利用定員が設定されている事業のみ表示

拠点名	事業名	事業所名	定員	稼働年 日間 数	利年 用間 者延 数べ	利月 用平 者均 数	稼年 働間 率平 均 度	稼年 働間 率平 均 度	前年 稼働 率比	年間 平均
寿 光 園	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 寿光園	60	365	20,757	1,729.8	94.8%	94.3%	0.5%	
	地域密着型 介護老人福祉施設	地域密着型特別養護 老 人ホーム寿光園	16	365	5,537	461.4	94.8%	97.3%	-2.5%	
	短期入所生活介護	寿光園ショートステイ 事業部	13	365	3,562	296.8	75.1%	76.0%	-0.9%	
	地域密着型 通所介護	デイサービスセンター 寿光園	18	310	2,811	234.3	50.4%	49.1%	1.3%	
	認知症対応型 生活介護	グループホーム寿光園	9	365	3,064	255.3	93.3%	99.1%	-5.8%	
柏 原 寿 光 園	従来型小規模介護 老人福祉施設	特別養護老人ホーム 柏寿	30	365	10,601	883.4	96.8%	101.7%	-4.9%	
	ユニット型小規模 介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 高寿	30	365	10,683	890.3	97.6%	97.9%	-0.3%	
	短期入所生活介護	ショートステイ柏寿	10	365	2,853	237.8	78.2%	71.2%	7.0%	
	短期入所 生活介護	ショートステイ高寿	10	365	2,562	213.5	70.2%	71.0%	-0.8%	
	地域密着型 通所介護	デイサービスセンター 高寿	18	311	3,378	281.5	60.3%	49.7%	10.6%	
	住宅型 有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム 安寿	18	365	2,027	168.9	30.9%	47.0%	-16.1%	
太 寿	地域密着型 介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 太寿	29	365	10,290	857.5	97.2%	97.5%	-0.3%	
	短期入所 生活介護	ショートステイ太寿	10	365	2,497	208.1	68.4%	56.3%	12.1%	
	認知症対応型 生活介護	グループホーム太寿	9	365	3,236	269.7	98.5%	99.1%	-0.6%	
楽 寿	地域密着型 介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 楽寿	29	365	10,368	864.0	97.9%	98.7%	-0.8%	
	短期入所 生活介護	ショートステイ楽寿	10	365	1,034	86.2	28.3%	9.2%	19.1%	
	通所介護	デイサービスセンター 楽寿	25	310	6,941	578.4	89.6%	88.9%	0.7%	
令 寿	認知症対応型 生活介護	グループホーム 令 寿の杜	18	365	3,216	268.0	48.9%	38.7%	10.2%	

(5) 地域貢献事業

●大阪社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）

対象者（年齢・性別）	住居地	概要	支援内容
30代男性	八尾市	府外旅館住込み仕事を退職後大阪へ、関東の家族と断絶。有期契約工場勤務内定も、必要な検診費用や携帯電話料金滞納、通勤の交通費、当座生活費などの支援	50,098円
70代男性	八尾市	内縁関係夫婦、無年金、障がいを持つ息子の就労収入（12万程度）と夫のアルバイト収入（10万）で生活。その後夫が肝不全で入院し経済的困窮。息子が家を離れ、生保受給が確実も給付までの期間少額の現金のみ、食材も僅か。	保管している食材を提供および、保護費支給までの安否確認
10代女性	八尾市外に転居	児童養護施設を出て一人暮らしを予定しているが、家財道具やその準備資金がない。	施設職員家族から提供を受け保管していた洗濯機を提供。
60代夫婦	八尾市	夫婦二人暮らし。夫ギャンブル借金や携帯電話滞納200万超、自己破産を目的に警備員を退職。妻パニック障害など看病もありフル勤務ができない。生保申請し受給決定も手持ち金が数百円程度。	市生活福祉課・府社協下永田氏連携し食材の提供。
30代女性	八尾市	発達障害があり転職を繰り返してきた女性。パートナーと二人暮らしも、パートナーが遠方の実家に戻ることで女性単独の生活となる予定。アルバイトで生計を立てるも多額のカードローン残高があり、家賃支払いが困難。実家も父のギャンブル依存、母がねずみ講に関わるなど頼れない。	生保申請手続きおよび備蓄のアルファ米20食分提供。新生活開始に際し職員家族から提供を受けた小型冷蔵庫を提供。以降寿光園フードパントリー（楽寿包括）につなぐ。

●柏原民間社会福祉連絡会 地域貢献事業

対象者（年齢・性別）	住居地	概要	支援内容
60代・男性	柏原市	就労が決定しているが、給料日までの交通費と生活費が必要。食料についてはフードバンクで支援を受けている。	10,000円
30代・男性	柏原市	給料はあるが、出費がそれ以上に嵩み、食費が払えなくなった為。	10,000円
70代・女性	柏原市	子供が年金を管理しているが、ライフラインの滞納があり生活できず、当面の間の生活費を支給。	10,000円
70代・男性	柏原市	明日、裁判所に公判に出席しなければいけないが、交通費の捻出が不可の為。年金支給日まで現物支給の予定。	1,140円
50代・男性	柏原市	仕事が内定し、診断書の提出が必要であるが、費用の捻出が困難な為。	6,300円
30代・女性	柏原市	働く意思はあるが、障害者年金受給日12月15日までの生活費の支援が必要な為。	10,000円
30代・男性	柏原市	光熱費滞納と生活費の不足がある。本人に支払える資金なく、期日までに支払わないとライフラインが止まる為。	10,000円

●宅配フードパントリー

拠点名	寿光園	柏原寿光園	太寿	楽寿	3月31日の状況
実施件数	2	2	0	1	現在継続対象者なし
相談のみ件数	2	1	1	0	現在継続対象者なし

※『障害者作業所等の生産物の展示販売』

展示事業者名	主な商品	売上金額
りんごの木	ポーチ他	9,300円
風の森	造花・消臭炭	900円

(6) トピックス

【新型コロナ関係】

令和4年度の各拠点施設における新型コロナウイルス感染症の発生状況は、寿光園及び柏原寿光園では2回のクラスターが発生しました。また、太寿においてもクラスターが1回発生しました。法人全体で5回のクラスターの発生があり、職員120名と、利用者91名が感染しました。利用者で入院された方は、22名おられました。幸いにも新型コロナウイルス感染症で死去された方はいませんでした。

【令和4年度新型コロナ陽性者状況】

拠点別コロナ陽性人数	本部	寿光園	柏原寿光園	太寿	楽寿	令寿の杜
利用者陽性者延べ人数	**	61人	25人	3人	2人	0人
職員陽性者延べ人数	1人	53人	28人	13人	22人	3人
合計人数	1人	114人	53人	16人	24人	3人

【職員誕生祝い金支給状況】

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	本部	寿光園	柏原寿光園	太寿	楽寿	令寿の杜	法人全体
支給人数	5人	96人	73人	52	48人	9人	283人
支給額計	120,000	2,435,000	1,710,000	1,205,000	1,130,000	220,000	6,820,000

週30時間以上の勤務者・・・3万円

週10時間以上20時間未満の勤務者・・・1万円

週20時間以上30時間未満の勤務者・・・2万円

週10時間未満の勤務者・・・5千円

(7) 今後の課題

- 1、人材確保の課題：法人内の全拠点において、職員の人材確保が困難を極めています。特に介護職員の人材不足が深刻な問題となっています。人材の確保とともに介護職員の離職を減らすためにも介護職員の労働環境の改善や、賃金、待遇の改善が求められます。
- 2、新型コロナウイルス感染症対策の課題：新型コロナウイルス感染症が感染症類型上、2類から5類に移行したといえ、介護が必要とされる高齢者においては感染リスクも高く、感染予防対策が求められます。今後、状況に応じた「緩和と予防」のバランスの取れた対応が必要とされます。
- 3、施設の老朽化に対する課題：法人の設立時に建築された寿光園本館では経年劣化による改修が頻発している問題で、大規模修繕で対応するのか、新たに事業を受託し建築するのか等、根本的な対応策を早急に検討していく必要があります。また、太寿、楽寿においても経年劣化の課題が存在しています。
- 4、利用者の多様性に対応する課題：コロナ禍で必要とされたサービス、コロナ収束時において求められるサービスなど、多様化する利用者ニーズに対応するサービスの提供が必要とされます。利用者の権利やプライバシーの尊重、人権侵害の防止と対応など、より一層の職員のスキルアップを目的とした研修体制の充実が求められます。
- 5、地域住民の多様性に対する課題：社会福祉法人の使命、役割は、社会や地域への貢献であり、地域福祉の担い手として、地域住民の多様なニーズに応えるサービスの提供と地域貢献事業を積極的に行っていく必要があります。地域に開かれた施設として活動と役割が求められます。
- 6、光熱費、物価高騰に対する課題：感染症対策の徹底が求められている中で、光熱費、食材料費、消耗備品等の物価高騰の影響が経営に重くのしかかっています。さらなる経営努力を模索することが余儀なくされています。

(8) 職員構成状況

※職員人数は、令和4年度1年間の勤務時間数を常勤換算(注)して算出した人数。

(注)常勤換算は、「172時間/月」として算出)

※派遣職員、委託業者職員等も、職員人数(実数・常勤換算数)に計上する。

※「入職者数」「退職者数」は令和4年4月1日～令和5年3月31日までの合計。

1、月平均在職職員数

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

	本部	寿光園	柏原寿光園	太 寿	楽 寿	令寿の杜	法人全体
月平均職員数 (実人数)	4.9人	112.8人	96.4人	60.5人	62.4人	15.3人	352.3人
月平均職員数 (常勤換算人数)	3.9人	89.8人	68.4人	42.2人	42.9人	8.5人	255.7人

※人数には委託の職員数も含む

※常勤換算は、実人数の総勤務時間数を172時間で除したものを常勤換算人数

(この場合、正規職員は有休を含み、契約・非常勤職員は有給休暇を含まない)

2、入退職数と離職率

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

	本部	寿光園	柏原寿光園	太 寿	楽 寿	令寿の杜	法人全体
入職者数 (実人数)	0人	8人	26人	7人	17人	9人	66人
退職者数 (実人数)	0人	16人	22人	4人	10人	7人	49人
離職率	0.0%	15.3%	13.7%	0.0%	7.8%	33.3%	***

※人数には委託の職員は含まない

※離職率の算出法：起算日(年度初めの日4/1)から1年間の離職者数÷起算日における在職者数×100

(この場合、1年間の間に新規採用した人数また、年度内に採用し、年度内に退職した人数は含まない)

参照：令和3年度『介護労働実態調査』結果によれば、2021年には過去最低となる14.3%であった。

3、職員の平均年齢と平均在職期間

令和5年3月31日現在に在職する者

	本部	寿光園	柏原寿光園	太 寿	楽 寿	令寿の杜	法人全体
職員平均年齢	50歳1ヶ月	52歳3ヶ月	48歳1ヶ月	49歳9ヶ月	51歳6ヶ月	46歳11ヶ月	49歳9ヶ月
職員平均 在職期間	7年5ヶ月	12年4ヶ月	7年9ヶ月	9年8ヶ月	6年11ヶ月	1年1ヶ月	8年4ヶ月
男女比率	男	男	男	男	男	男	男
	60.0%	22.7%	21.8%	10.3%	30.4%	35.3%	22.2%
介護職比率	女	女	女	女	女	女	女
	40.0%	77.3%	78.2%	89.7%	69.6%	64.7%	77.8%
	***	76.3%	73.6%	86.2%	58.9%	94.1%	79.1%

※委託・派遣の職員は含まない